

南甲子園小学校コミュニティー・スクールだより

西宮市立南甲子園小学校 学校運営協議会 令和6年3月11日 N06.

第3回学校運営協議会が開催されました

3月1日(金) 令和5年度最後の学校運営協議会が開催されました。会の内容をお伝えします。

教職員による学校評価と保護者への学校アンケートの結果を受けて、来年度の学校運営方針が校長先生から示され、委員の方々からご意見・ご感想をいただきました。

学校アンケートの説明を受けて出された意見

- ・各家庭で子どもに関わる時間を十分にとれているのか。子どもに心のゆとりがないことが学校に行きにくいことにつながっているのではないか。
- ・先日の昔遊びの中で、登校時の表情と違う表情があった。家と学校と地域と、それぞれ違う表情や姿があるように思う。
- ・(7)PTA 活動やボランティア活動にできるだけ参加するようにしていますか。の質問の仕方が、現状と合っていない可能性がある。聞き方を変えることで、返答も変わるのではないかと思います。
- ・アンケートの数値だけでなく、結果の相関性や関連性を見て、分析するとよい。

来年度の学校運営方針について

【校長より】 学校教育目標の見直し、変更を考えている。

その理由は

- ・本校の学校目標が、30年間変わっていない。
- ・学校の価値や存在意義については、社会の変容と共に変わってきているように思う。その中で、学校も自らの存在意義について見直していく必要があるように思う。
- ・愛情をもって、子どもに関わることが重要であると考えている。
- ・教師自身も自ら学んでいく必要があると感じている。

これらのことから

みんなでづくり いっしょに育つ学校 にしていきたい。

- ・教師も子どもたちと共に協力し、学校を作り上げていく意識をもってほしい。
- ・子どもを伸ばすという上から目線になってしまう。授業も子どもたちと一緒に作り上げていく気持ちをもって、教師も臨んでいく必要がある。
- ・家庭、地域と一緒に考えていくことが、子どもの成長につながっていく。

【委員からの意見】

・一緒につくっていくことは素晴らしいが、同じ目線に立ちすぎると教師の威厳というものがないようになっていくのではないか。

→ 【校長】 良い教師であればあるほど、先生だからという話し方はしない。教師自身が人として子どもに信頼される存在でいえないといけない。昔と教師の在り方が変わり、昔の関わり方と大幅に変わっているのは事実。教師も変わらないといけない。

・俳句を習っているが、先生の添削をさすが、と思う。教師としての価値や意味は大きい。

校長のこのような間柄で子どもたちと一緒に6年間過ごしてほしいと思う。

・自分の小学生期に反面教師になる存在がいた。教師としてここはプロ、と言える専門性がある。それをさらに研鑽してすすめたい。

・この学校目標でよいと思う。子どもたちも忙しくなり、保護者も顔を合わせる時間が少なくなっている。子どもたちに寄り添ってもらえる目標は良いと思う。

学校・地域・保護者の情報交換

1年生：昔遊び体験で老人会に教えてもらったことを、幼稚園の子たちに伝える活動を行った。

2年生：生活科で自分自身のことを家の人にインタビューしてきたことをパワーポイントにまとめる活動を行った。懇談は学年懇談会を行い、3年生に向けた話をした。学校、教師が成長する中で、家庭の成長もお願いしたいという思いもあった。

3年生：甲子園浜で野鳥観察に向かった。地域にある甲子園浜を大事にする気持ちを育んでいくことができているのではないかなと思う。

4年生：校外学習に行く中で、電車の乗り方にも成長が見られた。他の乗客に譲る姿も見られた。人と防災未来センターでは、すごく集中して見学する姿が見られた。

5年生：クラブの設立を行い、来年度の4・5年生を楽しませようと、最高学年になるための準備をしている。6年生を送る会では漫才などを使って、6年生の良さを伝え、楽しませることができた。卒業式の体育館準備を行い、6年生を良い形で送り出したいと考えている。

校外学習で、駅員の方から今まで見てきた小学生の中で一番礼儀正しかったとほめられた。

6年生：卒業式を自分たちで作り出すことを大切にしている。本で行ったお祭りや、今後も地域の公園への掃除等を予定している。子どもたちは中学へ進むのを不安に思っている様子が垣間見える。学校も背中を押して送り出したいと考えている。地域の方や保護者の方にも背中を押していただきますようお願いしたい。

町会より

- ・7月26日、27日に夏祭りの開催を予定している。

老人会より

- ・1年生の昔遊びに来て、老人会の方がとても喜んでおられる様子があった。1年生も一つの遊びにつき15分を堪能している姿があった。以前は3年生ともかかわりがあったが、現状はないのか。

スポーツクラブ21より

- ・活動の送り迎えに車で来ている人が多く、地域住民から苦情が入っている。

民生委員より

- ・育成センターの児童が多く、枠が足りていない現状がある。
- ・増築も含め、要望書を出そうと考えている。(南甲子園幼稚園の閉園も踏まえて)

PTAより

- ・来年度の委員選出に困難さがある。PTAの加入について希望を取ったところ、8割程度の家庭が残っているが、委員選出の希望者は少ない現状がある。委員の選出をどのように行っていくか相談をしている最中である。

南甲子園小人材バンクについて（推進員より）

- ・人材バンクへの登録数がありがたいことに少しずつ増えています。
- ・2月9日の研究発表会では4名の方にサポートいただきました。
お昼休みの図書開館サポートや園芸ボランティアの方々にもお世話になっています。
- ・2月13日には老人クラブの方20名が1年生に昔遊びを教えてくださいました。
- ・春休みには、卒業式で使った鉢花の水やりを園芸ボランティアの方をお願いしています。また、給食着の修繕には人材バンクの方のほか、老人クラブの方々もご協力くださいます。
- ・4月の入学式の翌日から1年生の下校指導が始まりますが、そのサポートを町会の方へもお願いできればと思っています。
- ・1年生の給食配膳の補助もこれから募集する予定です。

様々な人と関わることで、子供たちの学びがもっと豊かになると思います。お一人でも多くの登録をお待ちしています。

